

平成28年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1-2

市総合評価 A:計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
 市総合評価 B:ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
 市総合評価 C:目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
 市総合評価 D:目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

(千円)

<施策評価>

施策評価名	担当課	施策内容	市 評価	議会 評価	議会評価総括コメント	実施状況コメント	H29年度 当初予算額	H28年度 当初予算額	増減額 (H29-H28)	備考 (H27年度 決算額)
農業振興	農業委員会 ・ 農林水産課	市民に安全で安心な農林水産物を供給することにより食の大切さを伝え、さらに、農地の持つ多面的な機能により、住環境を良好にし、豊かな市民生活の提供を目指している。 また、基本方針として、都市近郊の立地をいかした特色ある農業を展開し、大阪泉州農業協同組合を初めとする農業関係団体と連携して、農業経営の安定と地域特産野菜の生産振興を図りながら、環境に配慮した農業を推進するため、有機性資源(家畜排せつ物等)の活用による有機栽培や低農薬栽培(大阪エコ農産物栽培)に取り組む農業者を支援するほか多様な農業の担い手の育成及び確保に努めている。 なお、本市の農業は、農業の担い手不足等の多くの問題を抱えるなか、農業の継続、発展するため、ほ場整備などの取り組みが課題である。また、環境にやさしい農業へ取り組むための支援や、農業後継者不在等による農地の遊休化を防止するため、認定農業者による農地の有効利用を促進する必要がある。	B	拡充	各議員の意見としては拡充多数であった。 課題として、高齢化による農家の跡継ぎが不足している件、今後の若手農家の育成や参入の件、鳥獣被害についての対策の件等が挙げられている。 また、今後の対応の意見として、水ナス・キャベツ・たまねぎ等の特産物の販路拡大やPRの充実、準農家制度の導入、農業人口増加に向けての規制緩和の意見が多く、大阪府や農協、農業委員会と連携しながら対応を進める必要がある。 不当な農地転用を防ぎ、農地を適正な農地として守っていくためにも、若年層の育成も含めて、農業に携わりたいという意欲のある市民が農業に参画出来る環境と、安全に農業を営める環境の整備、また地産地消を含めて泉佐野産農作物の消費拡大を促すように注力していただきたい。	この施策を構成する7つの事業のH29当初予算額とH28当初予算額を比べると、6,634千円(32.1%)の増加となっている。 これは、主に農業委員会運営事業で523千円減少する一方、農業用施設維持管理事業で6,445千円増加したことと、農業地域力創造推進事業で963千円増加したためである。	27,319	20,685	6,634	18,660

<本施策を構成する事務事業評価>

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H29年度 当初予算額	H28年度 当初予算額	増減額 (H29-H28)	備考 (H27年度 決算額)
1	農業委員会 運営事業	農業委員会	地方自治法第180条の5及び第202条の2の規定により設置している農業委員会の運営及び農業の担い手経営政策・農地政策・農業環境・資源政策等を中心に農家の実情を把握し、農地の保全に配慮を行いながら、農地法第3条の賃借権設定許可申請、第4条・第5条の転用届出などの農地に関する事務手続きの執行を行っており、泉南地区農業委員会連合会事務局としての事務もやっている。	B	—	<p>○農地中間管理事業法の成立にともない、新たな任務が加わり、農地相談員の設置など、必要な体制、予算の拡充を政府に求めることが必要です。</p> <p>○新体制による再編成に期待します。</p> <p>○新しい体制になるので、この機会に若返り等が出来るとう望ましい。</p> <p>現状維持で、活発な議論を期待します。</p> <p>○判定評価はBと良い方なので現状以上でお願いをしたいと思います。</p> <p>○届出・許可申請の事務事業の迅速化に取り組んでいただきたい。</p>	H29当初予算額とH28当初予算額を比べると、523千円(10.4%)の減となっている。これは、主に国の制度改革による農業委員の選出方法の変更などの影響で、農業委員の定数が27人から14人に減少し、新たに農地利用最適化推進委員が7人増加したことによるものである。	4,509	5,032	△ 523	4,883
2	農業振興補助事業	農林水産課	農業振興を図るため、農業後継者グループ(4H)及び農家生活改善グループが実施する活動、例えば農家生活の健全な発展と、健全な地域社会の実現を目指して、自ら新しい知識と技術を習得したり、実践すること及び農家以外の市民と農業体験の指導等といった地域活動の取組みに対し、事業補助金の助成を行っている。	B	—	<p>○後継者育成のための、更なる施策強化が必要。Uターン、Jターン農業者の育成など。</p> <p>○農業を通じて、新商品の開発・研究、後継者の育成、収穫体験など、地域に根を張った事業展開をご期待します。</p> <p>○出来れば、拡充して農業促進や後継者問題を解決していただきたいと思います。</p> <p>○本事業は、担い手を育成するための自主的な活動を積極的に取り組みを行っている。予算を増額して事業拡大を求める。</p> <p>○農家後継者問題も深刻化している中農業の理解、PRIに努めて頂きたいです。</p> <p>○農業後継者グループとの連携を強化し遊休農地の活性化に取り組んでいただきたい。</p>	H29当初予算額とH28当初予算額を比べて、増減はありません。但し、泉佐野普及促進事業において、4Hクラブの特産品協定市への視察旅費を計上している。	1,100	1,100	0	1,100

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H29年度 当初予算額	H28年度 当初予算額	増減額 (H29-H28)	備考 (H27年度 決算額)
3	農業共済組合助成事業	農林水産課	農家の不慮の事故による損失を補填し、農業経営の安定を図り、農業生産力の発展に資することを目的とした農業共済事業の円滑な運営を図るため、当組合の運営経費に対して助成を行っている。	B	—	<p>○引き続きよろしく申し上げます。</p> <p>○現状維持で、災害に対策してのバックアップは万全に申し上げます。</p> <p>1度の災害で、翌年の収穫まで長い時間挽回できないので精神的な面でも、何か必要ではと感じます。</p> <p>○指標が記されていないが、記すべき。</p> <p>○自然災害時はいつ起こるか分からないので経済的損失を最小限にとどめる為にも現状維持での事業を行って頂きたい。</p> <p>○農業の場合自然災害があるため今後共この事業を継続されたい。</p>	H29当初予算額とH28当初予算額を比べると、27千円(1.5%)の微減となっているが、これはH28及びH29の2年間で3%削減とする大阪府南部農業共済組合の計画によるものである。	1,772	1,799	△ 27	1,826
4	土地改良調査調整補助事業	農林水産課	土地改良事業の円滑な推進を図るため、土地改良事業関係団体が連携して行う研修会等の開催を行っている。	B	—	<p>○研修会は必要だとはおもいますが、どのように生かされているのか不透明感があります。出来れば、研修会で受けた内容が生かされているか分かると思います。</p> <p>○こちらの事業も現状維持でお願いしたいです。</p> <p>○ウォーキング等市民の健康増進・コミュニティの場としても活用されていて大変良い事業だと思います。現状維持以上でお願いしたいです。</p> <p>○行政が水利関係者の意向を丸のみしすぎのところがあり、改善していただきたい。</p>	H29当初予算額とH28当初予算額を比べて、増減はありません。	100	100	0	91

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H29年度 当初予算額	H28年度 当初予算額	増減額 (H29-H28)	備考 (H27年度 決算額)
5	農業用施設 維持管理事 業	農林水産課	ため池をゆとりの空間として利用してもらい、ウォーキング等の活動を促す事により、健康増進やコミュニティーの活性化を図っている。具体的には貝の池、新滝之池、大細利池において、草刈り、ゴミ収集、トイレ清掃等の維持管理を行うことにより、ゆとりの空間として一般市民へ提供している。	B	—	<p>○引き続きよろしく願います。</p> <p>○農業関係の予算の半分近くを占めているので、公共性を高めて地域住民が守る必要性を高める施策をさらに進めていただきたいと思います。</p> <p>(何か、利益が出る方策があればなお良いと思います。底の泥が肥料などに活用出来ないか?など)</p> <p>○新滝之池等は自然豊かな市民のいこいの場である。市外から訪れる人も多様に聞いています。JR日根野駅・長滝駅等に案内の看板等設置できたら良いと思った。</p> <p>○不法投棄対策は、移動式の防犯カメラを設置して粘り強く取り組む必要がある。</p> <p>ため池のゆとり空間利用としてのウォーキング活動を市報等で紹介してみてもどうか。</p> <p>○ウォーキング等市民の健康増進・コミュニティーの場としても活用されていて大変良い事業だと思います。現状維持以上でお願いしたいです。</p> <p>○不法投棄は徹底的に取り締まるべきである。防犯カメラやダミーカメラの増設を行い、貝の池、新滝之池、大細利池を市民憩いの場としての活用を積極的に行ってもらいたい。</p> <p>○農業従事者が減少してる中地域のボランティア団体もまじえて策を検討していただきたい。</p>	H29当初予算額とH28当初予算額を比べると、6,445千円(69.7%)の増となっている。これは、貝の池遊歩道の修理で3,575千円の増と大池のハザードマップ作成委託で2,500千円の増となったためである。	15,693	9,248	6,445	8,510
6	経営所得安 定対策事務 事業	農林水産課	国内の生産力確保のため、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、食糧自給率の向上と農業の有する多面的機能の維持を目標に、恒常的に赤字に陥っている水田農業の経営安定を図るための経営所得安定対策制度の申請手続きを行っている。	B	—	<p>○農家の所得補償・価格補償は国府まかせでなく、市独自の施策として推進すべき。小規模農業者を直接支援することにつながる。</p> <p>○意欲有る農家の増加を望みます。年々対象者が減少しているのでここにも後継者問題を解決していただきたいと思えます。</p> <p>○農業者が農業を業として維持できる環境を整える事が後継者問題への解決策にもなりうるこちらも現状維持以上でお願いしたいです。</p> <p>○本市内での水田経営では無理がある。特定農家を集約すべき。</p>	H29当初予算額とH28当初予算額を比べると、224千円(8.9%)の減となっているが、これは主に国の補助実績に合わせて転作等に関する事務補助のアルバイト賃金で215千円の減となったためである。	2,290	2,514	△ 224	1,582

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H29年度 当初予算額	H28年度 当初予算額	増減額 (H29-H28)	備考 (H27年度 決算額)
7	農業地域力 創造推進事 業	農林水産課	農業の担い手に農地を集積集約化し、農業の担い手の健全な農業経営を促進することで、地域農業の発展に寄与することを目的とし、農地中間管理事業を行う大阪府みどり公社との委託契約に基づく調査説明等事務と、中間管理事業を活用して貸借を行った農地所有者に対して交付金支給を行っている。	B	—	<p>○農地中間管理機構が対象とするのが、優良農地だけとされることから、耕作放棄地の解消には結びつかないという指摘があります。貸出先を、地域の担い手優先にするなど、競争力のある農外企業に優良農地を差し出すことにならないような仕組みが必要です。</p> <p>○農地の有効活用のためにも、力を入れてほしい施策だと思います。ここにも後継者問題があり、新しい農法の活用ややり甲斐の有る農業の確立が必要だと感じます。うまく推進出来るなら予算をかけていただきたいと思います。</p> <p>○こちらも判定評価は悪くはないので現状維持以上でお願いしたいです。</p> <p>○専業農家の促進には面積等で無理がある。</p>	H29当初予算額とH28当初予算額を比べると963千円(108.0%)の増となっている。これは、主に国の補助対象の拡大により農地集約化に関する事務補助のアルバイト賃金で606千円の皆増と経営転換協力金交付事業補助金で補助対象件数の増により350千円の増となったためである。	1,855	892	963	668
合 計								27,319	20,685	6,634	18,660